

作図補助

ウッドデッキ作成

「ウッドデッキ作成機能」は、図面に入力した塗りつぶしツール、スラブツールからさまざまな形状のウッドデッキを作成することができます。出隅、入隅、隅切り、くり貫きなど様々な形状に対応し、同時に手すり、ステップの入力ができます。作成したウッドデッキは、細かい部品ごとに分けられるため作成後の修正、材料変更も簡単に行えます。



ウッドデッキ作成機能の使い方

1) ウッドデッキ作成機能を使用するには、元となる形状を塗りつぶしツールまたはスラブツールで下書きする必要があります。

出隅、入隅、隅切り、くり貫きなどがある場合も下書きの段階で描いておきます。

2) 下書き完了後、矢印ツールで入力した塗りつぶし（またはスラブ）を選択し、ツールボックスの作業項目の[3D]-[ウッドデッキ作成]をクリックします。ウッドデッキ作成は、塗りつぶし（またはスラブ）が選択されないと有効になりません。

複数の塗りつぶし（またはスラブ）から一度にウッドデッキ作成を実行した場合、以下のメッセージが表示されます。

一旦選択を解除し、ウッドデッキを作成する塗りつぶし（またはスラブ）を1つだけ選択状態にします。



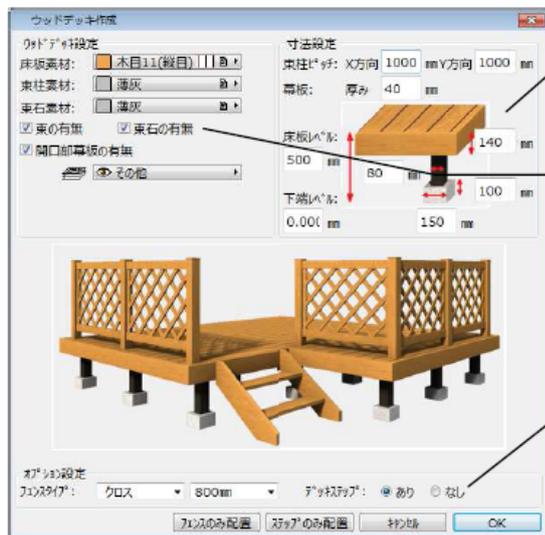
塗りつぶし（またはスラブ）以外の要素が選択されている場合、以下のメッセージが表示されます。

塗りつぶし（またはスラブ）を選択し直します。

作図補助



3) ウッドデッキ作成に必要な情報入力画面が表示されます。作成するウッドデッキのサイズを入力します。

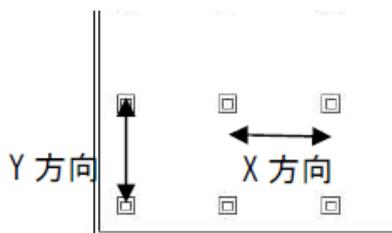


床板・束柱・束石で使用する材料を選択します。

束・束石の有無はチェックを外すと作成しない設定になります。

フェンスの形状、ステップの配置の有無を設定します。

4) 手順2で選択した塗りつぶし(またはスラブ)からウッドデッキが作成されます。



「束柱ピッチ」を設定した場合、指定したピッチで束柱が作成されます。

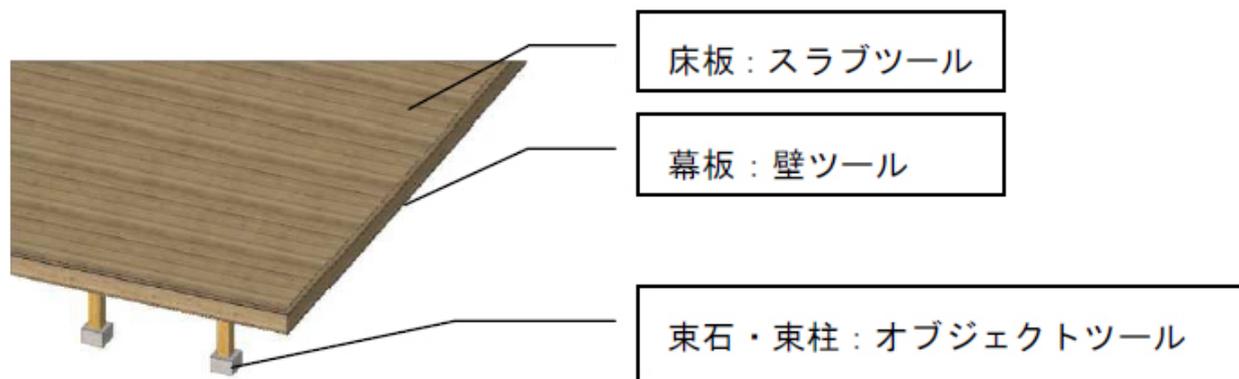
※ウッドデッキの形状によっては、設定したピッチに配置されない場合があります。その場合⑤の方法で束柱の位置を調整してください。

作図補助

- 5) 続けてデッキフェンスを配置します。
デッキフェンス入力後、ダブルクリックでフェンスの入力を完了します。
- 6) (オプション設定でデッキステップ：あり設定時) ステップを配置します。

ウッドデッキ作成後、フェンスやステップの追加を行う場合は、再度ウッドデッキ作成を実行し、設定画面下部の[フェンスのみ配置][ステップのみ配置]を実行します。

ウッドデッキ作成機能で作成された要素はすべてRIKCADの要素で構成されています。ウッドデッキ作成後、それぞれの材料サイズを変更することもできます。



また作成されたウッドデッキはそれぞれの要素がグループ化された状態ですので、グループ化の解除を行うことで、床板の変形、幕板の削除、束石の移動・削除ができます。グループの一時解除は画面上部のツールバーのグループの一時解除から行います。クリックすると、床板、幕板、束柱を個別で選択できるようになります。再度グループの一時解除ボタンをクリックすると元のグループ化の状態に戻り、1つのウッドデッキとして移動することができます。



一意的なソリューション ID: #1074
製作者: 藤田
最終更新: 2019-05-09 11:04